管機連Daily News

2025年10月24日(金)

≪ 今日の主なニュース ≫

~ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ~

◆信金の国債含み損2.5兆円弱 金利上昇うけ1年で3倍、金融庁が点検へ

・金利上昇で一部の信用金庫の財務が悪化している。全国の信金が保有する有価証券の含み損は2025年3月期決算で2.5兆円弱に上った。前年同期から3倍超に膨らんだ。金融庁と信金中央金庫は年度内にも信金の財務の集中点検に乗り出す。市場金利が上昇すると、金融機関が保有する国債などの債券価格は下落。会計上は含み損として計上。

◆防衛費GDP2%水準へ増額、25年度中に前倒し 所信表明原案

・高市早苗首相は所信表明演説で、防衛費を2025年度中に関連経費と合わせGDP比2%水準に増額すると打ち出す調整に入った。政府はこれまで27年度に実現させる計画だった。厳しい安全保障環境を踏まえ目標達成を前倒しする。岸田政権が海上保安庁予算やインフラ整備費などの関連費用と合わせ27年度にGDP比2%にすると決めた。

◆中途求人倍率、9月は2.43倍に上昇 商社など求人増

・パーソルキャリアが発表した9月の中途採用求人倍率は、前月比0.01ポイント上昇し2.43倍となった。上昇は2カ月ぶり。求人数が1.9%増え、転職希望者数の1.4%増を上回った。同社の転職サービス「doda(デューダ)」を通した中途採用の求人数を、登録している転職希望者の数で割った。求人は主要12業種のうち11業種でプラスだった。

≪ 業界ニュース ≫

~ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ~

◆公共工事の「労務費ダンピング調査」 国交省、ガイドライン案提示

・国土交通省は2025年12月までに全面施行される改正入札契約適正化法(入契法)に合わせ、公共工事の発注者が落札候補者に対し労務費を適正に計上したかどうかを確認する「労務費ダンピング調査」についてガイドライン案を作成し公表した。調査対象は原則全ての工事とし、基準額は「直接工事費の官積算額×0.97」を提示した。

◆エチレン稼働率、38カ月連続「不況」9月は77.6%

・石油化学工業会はエチレン生産設備の2025年9月の稼働率が77.6%だったと発表。好不況の目安とされる90%を38カ月連続で下回った。中国での増産による供給過多の影響や人口減少による内需の低下を背景に低迷が続いている。エチレンは自動車や家電などに使う合成樹脂の原料となる。9月の生産量は前年同月比11%増の43万800トン。

◆9月住宅展示場来場者は再び減少 増加は中国・四国エリアのみ

・住宅展示場協議会と住宅生産振興財団は2025年9月の住宅展示場来場者数を発表した。来場者組数は前年同月 比7.6%減の24万8080組で、前月の増加から再び減少に転じた。2025年度累計(4~9月)は同5.6%減の128万628 組となり、減少幅も再び拡大。中国・四国エリアのみが前年同月比25.2%増と増加、その他の7エリアはすべて減少。

≪ 注目商品 ≫

■YKK AP、「ドアリモ 玄関ドア D30 防火ドア」

・カバー工法により外壁を壊さず1日で最新のドアへ交換できる国土交通大臣認定の防火設備「ドアリモ 玄関ドア D30 防火ドア」をリニューアルし発売。基本構造を見直し、デザインやカラーのバリエーションを大幅に拡充。



■グローエ、キッチン水栓「ミンタ」

・多様なスパウト形状と機能性で人気のキッチン水栓「ミンタ」シリーズに、水はね低減機能を搭載した新モデル7種類をラインアップ。日本国内のユーザーの声に応え、ドイツオリジナル品の散水板に改良を加えることで、水はねの少ない「ソフトスプレー仕様」を採用。



■パロマ、レンジフード連動機能搭載 テーブルコンログランドシェフ プレミアム

・コンロの点火・消火に連動してレンジフードが自動でオン・オフする「レンジフード連動機能」を、テーブルコンロとして業界で初めて搭載。調理中のレンジフード操作の手間が減り、消し忘れによる電気の無駄使いを削減。天板には ハイパーガラスコートトップを採用。

